

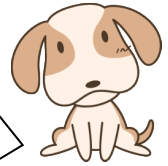
道徳研修だより

世羅町立せらひがし小学校

平成 31 年 3 月 11 日

3月に入りました。学年末に向けて忙しい時期ですが、児童がよいまとめができるように取り組んでいきましょう。

今回は、評価についてのまとめと来年度に向けての提案です。よろしくお願いいたします。



❁ 道徳科の評価について（まとめ）

① 3学期の通知表の評価について

○複数の学習を総括して記述する場合

（同じ内容項目・違う内容項目）

- ・教材名は1つだけ入れる。（2つは入れない。）
- ・具体的に自分を振り返っているかどうか。
- ・児童自身が捉えられるように、励ましとなるような記述をする。

（例）～が考えられるようになりました。さらに～
～ましたが、3学期では、～
～に気付いていましたが、その後の学習で、～

～と考えを深めることができました。
～にも気付くことができました。

② 指導要録の記入について

- 具体的な教材名は入れず、簡潔に記述する。
- 2つの内容項目について並列して記述する方法もある。

（例）～と捉えたり、～と気付いたりして、考えを深めた。
～や～だと気付いた。

○例を示しましたが、これが絶対というものではありません。引き続き交流しながら、児童への励ましとなる評価をしていきましょう。

❁ 来年度の実践について（提案）

【道徳教育の重点目標】

自分の目標をもって粘り強く努力し、誰に対しても分け隔てをせず、友達とよりよい関係を築くことができる子

【重点内容項目】

A 希望と勇気、努力と強い意志、B 友情、信頼、C 公正、公平、社会正義

継続すること

①授業について

◆今までの取り組んできたことを継続する。

- ペア・グループトークを取り入れることで、自分の考えを伝え、話し合う活動が仕組めた。
- 問題解決的な学習により、課題が明確になり、しっかり考える授業づくりができた。
- 体験的な学習を取り入れることで、“かかわり”を大切にした授業づくりができた。
- 思考ツールを活用することは、児童が考えたり、表現したりする手立てとなった。
- 授業改善により、児童の意識の向上が見られた。

★各学年で、教材ファイル（学習指導過程、板書、場面絵、ワークシート等を綴じたもの）を活用する。

★今までのデータ（せらひがし小学校→学年フォルダ→道徳→各学年）を活用する。

②振り返りを充実させる。

◆授業の振り返り（毎時）

- 書かせることで、自分自身を振り返らせることができた。
- 同じ内容項目を同じワークシートに書かせることで、児童自身に自分の成長に気付かせることができた。
- 児童の成長の様子を見取り、評価に生かすことができた。

◆道徳振り返りタイム（月末）

- 児童に自分自身を振り返らせることができた。（色分けが効果的）
- 朝会時に設定したことで、確実に実施できた。

◆「道徳の学び」学習した足跡を掲示 【教材名、学習課題、学習内容（キーワード）】

- 道徳の時間や月末振り返り等で自分を振り返るときに活用した。
- △毎時間きちんと書かなくてはいけない。

変更、継続しないこと

①授業研究1回 → 事前シミュレーション、研究授業、事後研修）…宮里先生

②県意識調査、重点内容項目のアンケート（県の指定事業が終わったため）

③総合単元的道徳学習プログラム作成

→ 資質・能力に係る年間計画の中に入れる。

ユニットを組んで取り組む→キャリア教育で行う。

- 道徳の学習と他教科等の関連を図ることができた。
- キャリア教育と関連させ、ユニットを組んだ活動について児童に意識させて取り組むことができた。
- △プログラムを作成するのが大変。

その他

- ・道徳ファイルは継続して使う。
- ・シラバスを確認し、地域教材を必ず実施する。
- ・道徳参観日、学級懇談会を実施する。